

JA愛知信連の概要

JA愛知信連のプロフィール（平成31年3月31日現在）

名	称：愛知県信用農業協同組合連合会
設	立：昭和23年8月
所 在	地：愛知県名古屋市中区錦三丁目3番8号
貯	金：7兆8,146億円
貸 出	金：5,447億円
出 資	金：2,094億円
単体自己資本比率：17.78%	
役 員	数：経営管理委員13名 理事5名 監事4名
職 員	数：331名 (男子223名／女子108名)



利用者の皆様に支えられ、
地域金融機関として高い評価を受けています。

R & I より発行体格付「A+」（格付の方向性：安定的）を取得

当会は、財務の健全性を高く評価され、国内格付機関である株式会社格付投資情報センター（R & I）より発行体格付として上位となる「A+」を取得しています。また、中期的な格付の見通しである方向

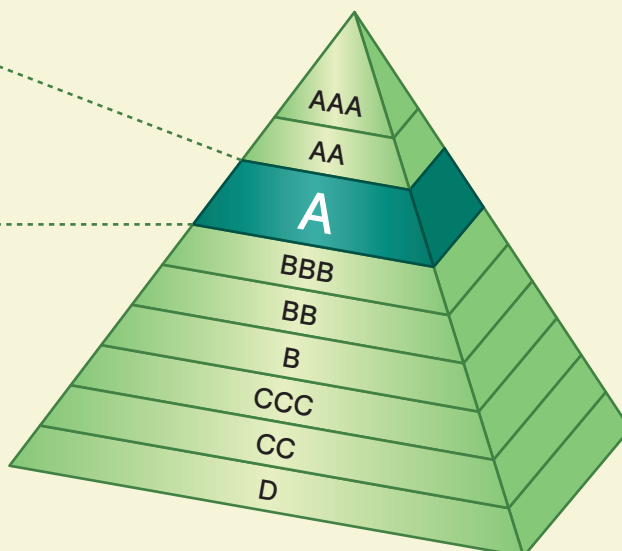
性についても、「安定的」との評価を得ています。

今後も、安定的で健全な経営に努め、利用者の皆様からの揺ぎない信頼の確保に向けて、役職員一丸となって努力してまいります。

発行体格付

A+ 当会の格付
A
A-

発行体格付とは、企業の総合的な信用力について、第三者である格付機関が客観的な立場から評価を行い、その結果を符号で表したものです。また、AA格からCCC格については、上位格に近いものにプラス、下位格に近いものにマイナスが符号の一部として付与されます。



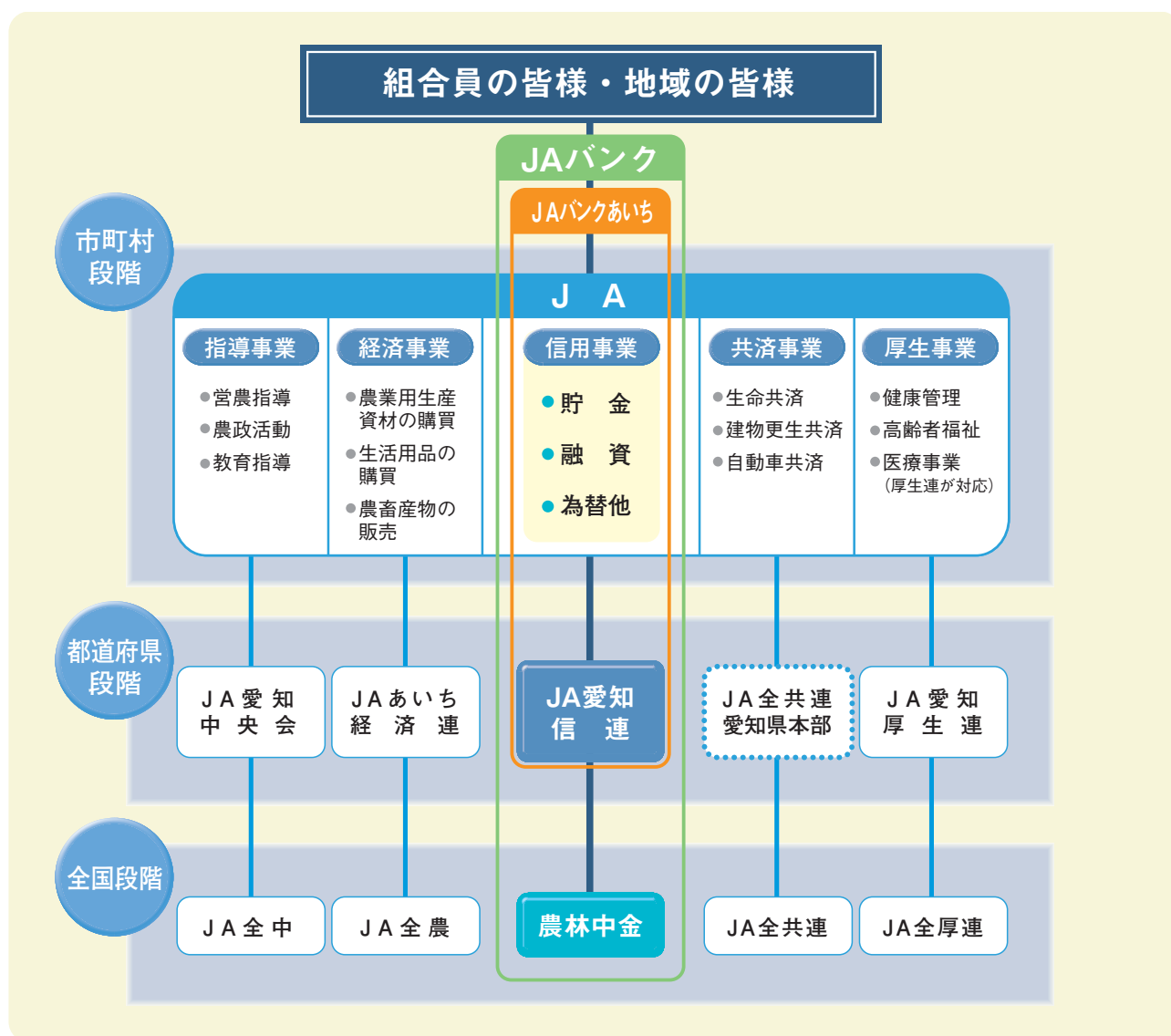
JAグループの仕組み

JAグループは、農家組合員をはじめとする組合員組織を基盤に、市町村段階のJA、都道府県段階・全国段階の連合会組織で構成し、それぞれが機能分担のもと、信用事業のほか、指導事業、経済事業、共済事業、厚生事業等を展開しています。

特に、信用事業においては、JA、信連、農林中金で構成するグループが「JAバンク」の総称のもと、実質的に一つの金融機関として一体的に事業を展開しており、愛知県においては、県下JAと私どもJA愛知信連が「JAバンクあいち」として一体

的な事業運営を展開しています。

私どもJA愛知信連は、信用事業を行う都道府県段階の連合会組織として、県下JAの事業運営をサポートする県域機能を発揮するとともに、県域を営業エリアとする農業専門金融機関・地域金融機関としてJAと協調して金融サービスを提供することにより、県下JAと一体となって、組合員、地域利用者および企業など、地域の皆様のお役に立つ金融サービスを提供できるよう努めています。

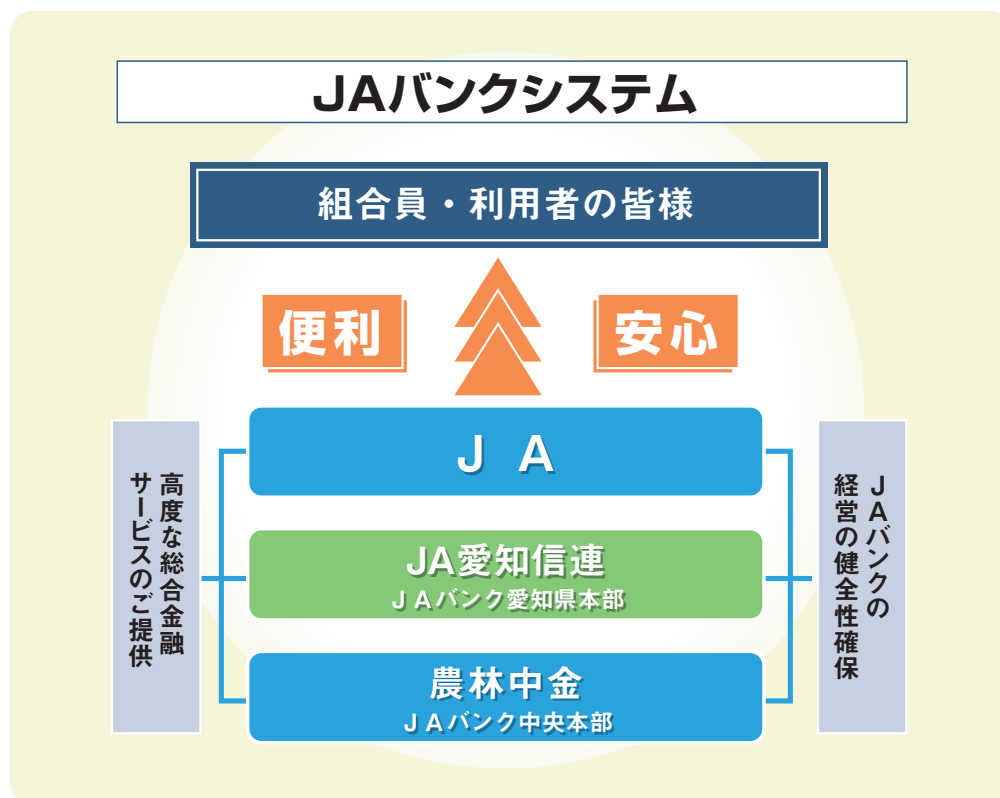


JAバンクシステムの仕組み

JA、信連、農林中金が一つの金融機関として機能するJAバンクシステムにおいては、経営破綻を未然に防止することが最重要であるとの視点に立ち、問題点の早期発見のため、JAの経営状況のチェック等を行う「破綻未然防止システム」を構築し、JAの健全性確保に全力で取り組んでいます。また、組合員・利用者である皆様の金融ニーズを的

確に把握し、商品・サービスの開発・提供に取り組んでいます。

この取組みのなかで、当会は、組合員・利用者の皆様に便利で安心してお取引きしていただけますよう、JAバンク愛知県本部としての役割を十全に発揮します。



便利です!

JAバンクは、皆様のニーズに対応した多様な商品・サービスを提供します。

「JAバンク」は、より身近で安心・便利な金融機関として、地域の皆様に利用していただけるよう、グループ全体のネットワークと総合力を発揮し、全国に店舗やATM網を展開するとともに、常

に組合員・利用者の皆様の金融ニーズの把握に努め、良質で高度な商品・サービスを全国と一体となって開発・提供しています。

安心です!

JAバンクは、「貯金保険制度」と「破綻未然防止システム」による「JAバンク・セーフティネット」を構築し、皆様の貯金を安全にお守りします。

貯金保険制度

貯金保険制度は、貯金者保護のための国の公的な制度であり、JA、信連、農林中金などの加入が義務づけられています。万一JAが経営破綻して貯金の払戻しができなくなった場合、JAなどから納付された保険料を原資に、貯金を一定の範囲で保護します。

破綻未然防止システム

「JAバンク」は、行政の基準よりもさらに厳しいJAバンク独自の自主ルール基準（自己資本比率等）を設定し、個々のJAの経営状況をチェック（モニタリング）します。

また、全国制度の「JAバンク支援基金」と、県制度の「愛知県JAバンク支援制度」の二つの制度が互いに連携し、万一の事態に至ることのないよう、早期・適切に経営健全性の向上のために、必要な支援（資本注入や資金援助等）を実施します。

JAバンク・セーフティネットの仕組み

